

米国環境保護庁
ワシントン D.C. 20460

大気放射局

2008年3月11日

ENERGY STAR®コンピュータモニターパートナーまたはその他関係者各位：

2007年12月に、米国環境保護庁（EPA）は、ENERGY STAR コンピュータモニター基準バージョン 4.1 の改定を支持するために、関係者に対して試験要求を配布した。その時 EPA は、非適合コンピュータモニター、商業用（プロフェッショナル）ディスプレイおよび電子写真立てに関する試験情報を提出するように製造事業者者に依頼した。EPA は、新たなバージョン 5.0 基準の策定を支援するために、試験データを提出したすべての関係者に感謝する。現在までに提出されたデータは、モデル名を特定する情報等を隠し、本書に添付されている。

提出された製品情報を検討してみると、ENERGY STAR が規定する輝度値と機器の出荷時に初期設定されている輝度値において、オンモード消費電力に著しい違いがみられた。（この消費電力の差異を視覚的に示す図表については、添付の「On Mode Power Consumption at Minimum, Maximum, Default and ENERGY STAR Luminance Levels」ファイルを参照してほしい。）この所見に基づき EPA は、製造事業者が自社の適合製品の一部のモデルに対して、最小輝度、工場初期設定輝度、およびその機器の最大輝度の 3 つの輝度設定を用いて追加試験を実施することを要請する。現行適合モデルの一部を試験用に決定する際、試験結果のデータが、現在入手可能なモデルや今後 1 年間に発表予定のモデルを代表するものとなるように、製造事業者は、さまざまな解像度および画面寸法の現在最も普及しているモデルに関するデータを提供するように強く奨励される。これにより、改定される性能基準値が、市場で注目されるさまざまなディスプレイ製品に適用可能な適正値に設定されることを確実にできる。

追加的な製品試験の実施に興味がある製造事業者は、参考として添付されている、ENERGY STAR コンピュータモニター基準バージョン 4.1 において規定されている試験方法を使用すること。EPA は、付属の ENERGY STAR モニターデータ収集ワークシート（エクセルバージョン）を使用して、試験結果を提出することを推奨する。**2008年3月31日(月)までに受け付けたデータ**は、ENERGY STAR コンピュータモニター基準バージョン 5.0 の第 1 草案の策定において考慮される。**試験データは、ICF International の Mehernaz Polad (mpolad@icfi.com) に提出する。**EPA は、関係者による検討と意見提出のため、第 1 草案を 2008 年 4 月下旬に公表する予定である。

エネルギー効率に関して上位である製品を認識できるように、関係者各位と ENERGY STAR コンピュータモニター基準の改定に協力して取り組めることを期待している。質問や懸念については、EPA の Christopher Kent ((202)343-9046 あるいは kent.christopher@epa.gov) に直接連絡をとることができる。

Sincerely,

Christopher Kent
ENERGY STAR Product Manager

付属書類：

- Masked Dataset for Models Submitted in Response to December 2007 Testing Request（2007年12月の要求に応じて提出されたデータ（モデル名等の情報が隠されているもの））
- Chart showing On Mode Power Consumption at Minimum, Maximum, Default and ENERGY STAR Luminance Levels（最小、最大、初期設定、および ENERGY STAR 規定の輝度値におけるオンモード消費電力の図）
- ENERGY STAR Monitor Data Collection Worksheet & Testing Instructions（ENERGY STAR モニターデータ収集用ワークシートおよび説明）
- ENERGY STAR コンピュータモニター基準バージョン 4.1